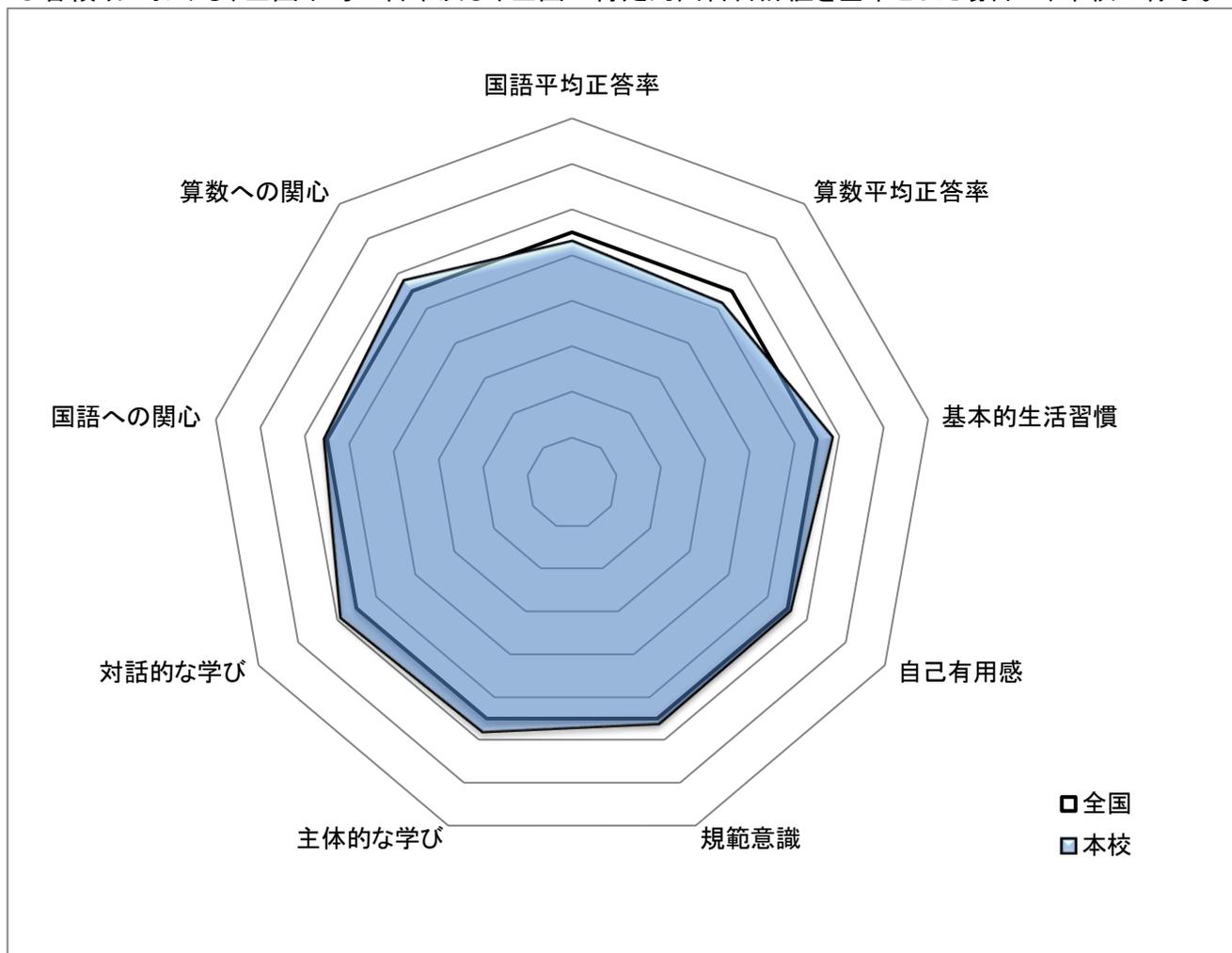


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

児童質問調査の結果はどれも全国平均を上回っており、学習面でも生活面でも前向きに捉えている児童が多い。朝食を毎日食べ、同じ時刻に起床・睡眠できている子が多いことから、基本的な生活習慣が学校生活にも良い影響を与えていることが読み取れる。学習に自らすすんで取り組むとともに、学んだことを友達に伝え合うことの良さに気付いている子が多く、学習への関心が高いことが見受けられる。算数より国語への関心がやや低い点を意識して授業改善を図る必要がある。

《授業改善のポイント》

「松小授業スタンダード」を継続して行い、主体的、対話的で深い学びの更なる充実を図る。算数に関しては朝学習「めざスタ」や昼学習「ランスタ」を継続して行い、基礎学力の定着を目指す。国語についても朝学習「めざスタ」における「よむYOMUワークシート」の実施や言語事項に関するワークシート等に取り組み、読解力・語彙力・言語能力の向上を図る。また、新聞記事等の身近な情報に触れる機会を増やすことで、身の回りの生活への興味関心を高めていく。昨年度から学校全体で取り組んでいる暗唱やうそ日記の活動を継続的に行うことで、正しい日本語を楽しく使うようにしていく。

《チャートの特徴》

- ・国語、算数ともに平均正答率は全国平均をやや下回っている。
- ・各質問項目は、全て全国平均を上回っている。
- ・全国平均を1としたときに、「対話的な学び」は1.08、「基本的な生活習慣」は1.07、「主体的な学び」「算数への関心」は1.06である。他の項目より、若干高い数値になっている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・これまで通り規則正しい生活を送ってもらえるように声掛けする。
- ・学習支援ツール「ミライシード」内の「ドリルパーク」を活用し、家庭でも基礎・基本の定着を図ってもらえるようにする。